

2月の誕生花②

誕生花とは生まれた日にちなんで1年365日それぞれに特定の花を割り当てたものです。誕生日には、その日を象徴する誕生花を贈ってお祝いをするなどして親しまれています。



2月5日 【シクラメン】 花言葉 「はずかしがり」

地中海原産で、日本には明治中期に渡来しました。シクラメンの花弁は5枚で、大きく反り返るのが特徴です。その咲く姿を見て、明治時代の貴婦人が篝火（かがりび）のようだとしたこと、植物学者が篝火花（かがりびばな）と名付けたと云われています。

2月15日 【サンシュユ】 花言葉 「永遠」

春に黄色い花をたっぷり咲かせるだけでなく、秋には紅葉とともにかわいらしい赤い実をつけて、四季の移ろいによって表情の変化を楽しめる花木です。一年を通して見どころの多い花木です。



2月20日 【コブシ】 花言葉 「友情」

日本各地の野山を白い花で彩るコブシは、サクラとともに春の訪れを告げる花木です。ヤマザクラと同じく、コブシもタネまきや田植えの時期を知らせる花として、古くから農耕と密接な関係がありました。



2月28日 【ロウバイ】 花言葉 「温かみ」

冬枯れの庭に咲きます。薄黄色で中央部が紫の、ろうそく細工のような花です。中国原産の落葉低木です。開花期以外はあまり目立ちませんが、新春に香り高い花を咲かせる貴重な存在です。

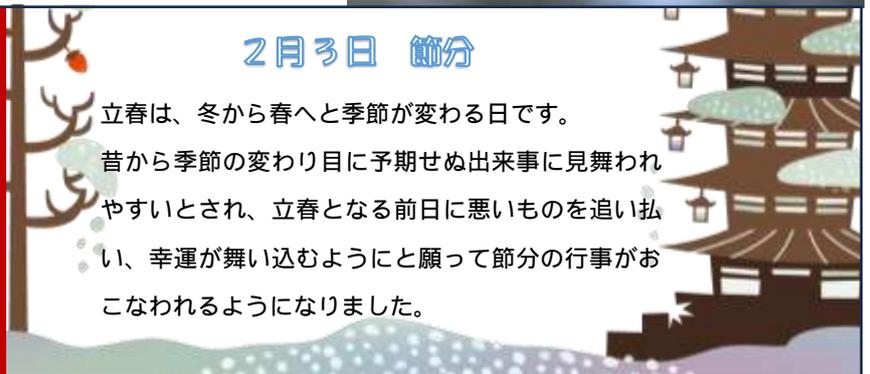


2025
2月

2月3日 節分

立春は、冬から春へと季節が変わる日です。

昔から季節の変わり目に予期せぬ出来事に見舞われやすいとされ、立春となる前日に悪いものを追い払い、幸運が舞い込むようにと願って節分の行事がおこなわれるようになりました。



植物家紋 ②

桐 きり

桐はアオギリ科の落葉広葉樹。鳳凰が住む嘉木とされる梧桐（あおぎり）に由来する家紋ですが、デザイン的には別種の白桐が元となっています。もともと天皇家の紋章でしたが、功を挙げた臣下に賜与されることにより次第に広まっていきました。梅、藤、木瓜、片喰とともに五大家紋の一つです。



五三桐

使用苗字：西谷、小沢、今井、岡田、小栗 等



丸に五三桐

使用苗字：三島、佐藤、竹川、窪田、安生 等



土佐桐

使用苗字：山内、板垣、越川

樹木の雑学 ② (落葉樹編)

落ち葉の意味？ 冬の訪れを教えてくれる落ち葉。なかなか風情がある光景だが、どうして冬になると樹木は葉を落とすのか疑問に思ったことはないだろうか？



寒い冬を越すため動物は冬眠をします。実は樹木も一緒に、冬を無事に越すために葉を落としているのです。

通常、葉では植物が成長するために必要な栄養を、太陽の光、つまり光合成をして作っています。しかし、これは春から夏の太陽が十分に降り注ぐ時期のみです。

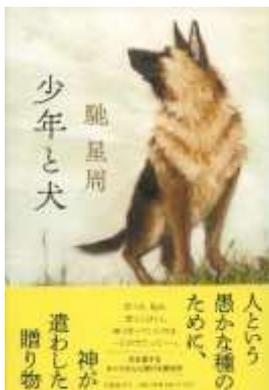
日照時間が減少してくる秋から冬は、葉でつくるエネルギーよりも葉があることで使われるエネルギーのほうが大きくなってしまいます。その為、冬が近くなると夏のあいだに葉でつくっておいた沢山の栄養を樹皮や枝に移し、いらなくなった葉を落とすのです。

また、冬に葉があると葉の部分に雪が積もりやすく、その分枝が折れやすくなるリスクもあります。さらに風が吹くと葉から貴重な水分まで失われてしまいます。

このように、寒い冬は葉があるとむしろマイナス面が大きくなってしまいます。

樹木が葉を落とすのは、寒い冬を無事越す為なのです。

◆本の紹介◆



少年と犬

傷つき、悩む人々に寄り添う、一匹の犬がいた――。

『少年と犬』は、東日本大震災で飼い主と別離した一匹の犬「多聞」が、さまざまな人々との出会いと別れを繰り返しながら、東から西へと旅する物語です。

庭をつくろう！ 庭で過ごす時間の気持ちよさ

春、バンジャマンの引っ越してきた家には、広い庭がありました。でも、ずっと空き家だったので、庭は荒れほうだい。さあ、家族みんなで庭づくりをはじめよう！ガーデニングにも役立つ楽しい絵本です。

